

2018.7.10

シュトイデ弦楽四重奏団 with 小林有沙

《開催概要》

この度、中外製薬株式会社の協賛により、176 年の歴史を持つウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスター、フォルクハルト・シュトイデ氏が率いるシュトイデ弦楽四重奏団による室内楽演奏会を、2018 年 10 月 19 日(金)紀尾井ホールにて開催します。

公演の第1部は、2000 年にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターに就任したシュトイデ氏を筆頭に、同管弦楽団のメンバーによって 2002 年に結成したシュトイデ弦楽四重奏団が晩年のベートーヴェンの意欲作「大フーガ」と、シューベルトの名作「死と乙女」を演奏します。後半はウィーンゆかりの実力派日本人ピアニスト小林有沙を迎えて、ドヴォルザークの傑作、ピアノ五重奏曲をお届けします。

黄金のハーモニーと賞賛される楽都ウィーンの代名詞、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団。そのメンバーとして長年培ったアンサンブル力が、まさにシュトイデ弦楽四重奏団の最大の魅力！

選りすぐられた室内楽の名曲と共に、芳しい伝統の響きをどうぞご堪能ください。

特設ウェブサイト <https://kk1002.wixsite.com/steudequartet-arisa>

名 称	シュトイデ弦楽四重奏団 with 小林有沙
日 時	2018 年 10 月 19 日(金) 19:00 開演 / 18:30 開場
会 場	紀尾井ホール
協 賛	中外製薬株式会社
協 力	LEGARE
制 作	株式会社 1002

本公演についてのお問い合わせ

〒102-0083

東京都千代田区麹町 1-3-7 日月館麹町ビル 3F

株式会社 1002 公演担当=徐 明淳[シュ ミンチュン] / 丸山 裕[マルヤマ ユウ]

TEL 03-3264-0244 / FAX 03-3264-1788

MAIL 徐 hsumc@1002.co.jp / 丸山 maruyama.yu@1002.co.jp

《公演概要》

プログラム

L.v. ベートーヴェン／大フーガ 変ロ長調 Op.133

F.シューベルト／弦楽四重奏曲 第14番 ニ短調「死と乙女」 D.810

A.ドヴォルザーク／ピアノ五重奏曲 イ長調 Op.81, B.155

出演者

シュトイデ弦楽四重奏団 Steude Quartet

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスター、フォルクハルト・シュトイデのもとに同オーケストラの次世代を担う演奏家達が集った、ウィーン正統派の流れを継承するアンサンブル。2002年1月1日の結成以来、連続してザルツブルク音楽祭に出演。03年4月には、大阪国際フェスティバルにも出演している。優雅かつウィーン特有の気品を湛えたアンサンブルは絶品。ウィーン弦楽四重奏団の継承者としての呼び声が高く、将来が期待される。06年にはウィーン楽友協会でコンサートデビューをはたし、大絶賛を受ける。09年からは年4回の定期演奏会を楽友協会で行い13-15年はウィーンの新しいホール MuTh (Musik & Theater) で定期演奏会を行った。その後、充電期間を経て17年活動を再開する。

【第1ヴァイオリン】フォルクハルト・シュトイデ Volkhard Steude

1971年生まれ。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスター。ベルリンにてヴェルナー・ショルツに、ウィーンでアルフレート・シュタールにそれぞれ師事する。オーストリア内外で室内楽及びソロ活動を活発に行っており、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーにより結成されたウィーン・ヴィルトウオーゼンのリーダーを2001年より12年まで務めた。

【第2ヴァイオリン】ホルガー・グロー Holger Groh

1976年生まれ。グラーツのヨハン・ヨーゼフ・フィクスコンセルヴァトリウムで学ぶ。卒業後はアルフレート・シュタール、ライナー・キュッヒル、ティボー・ヴァルガ諸氏の下で研鑽を積む。11歳で州立青少年コンクール優勝。2000年にグラーツ交響楽団第1コンサートマスターに就任。06年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。他にウィーン・ヴィルトウオーゼン、ウィーン弦楽ゾリステンメンバーとしても活躍している。

【ヴィオラ】エルマー・ランダラー Elmar Landerer

1974年生まれ。ウィーンにて、ヴァイオリンをミヒャエル・シュニッツラー、ヴィオラをペーター・オクセンホーファーに師事。96年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。オーケストラ奏者のほか様々な室内楽活動を行っており、ベルヴェデーレ三重奏団、ウィーン・ヴィルトウオーゼンのメンバーでもある。

【チェロ】ヴォルフガング・ヘルテル Wolfgang Härtel

1975年生まれ。グラーツでヒルドグント・ポッシュに、ウィーンでヴォルフガング・ヘルツァーにそれぞれ師事し、優秀な成績で卒業。ウィーン・フォルクスオーパー管弦楽団の首席チェロ奏者を経て、2000年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。

小林有沙 Arisa Kobayashi (ピアノ)

桐朋女子高等学校音楽科を経て同大学に進学したのち、ロームミュージックファンデーションより奨学金を得て、ベルリン芸術大学へ留学。卒業後、ウィーン国立音楽大学ポストグラデュエートコースにてさらに研鑽を積み、2013年活動の拠点を日本に移す。

12年モロッコ王妃国際ピアノコンクールにて、審査員満場一致で優勝し、併せて最優秀デビュー演奏家賞を受賞した。第1回クールシュベール音楽祭 in ともべ優秀音楽賞、ルーマニア国際音楽コンクール第3位、ウィーン・ディヒラー音楽コンクール第2位など数々の国際コンクールで入賞。

銀座王子ホールやヤマハホールなどでのソロ・リサイタルをはじめ、ニューヨーク・フィル首席奏者らとの3度にわたる室内楽の共演や山田和樹、瀬山智博、飯森範親の各氏と協奏曲を共演し、絶賛を博す。また、確かな音楽作りにおいてヴァイオリン奏者や管楽器奏者から共演ピアニストとしての信頼も厚い。

これまでに上田和代、岡本美智子、有森博、伊藤恵、横山幸雄、Pascal DEVOYON、Jan Gottlieb JIRACEKの各氏に師事し、室内楽を野平一郎氏に学ぶ。

オクタヴィア・レコードより2枚のCDをリリースし、いずれも「レコード芸術」誌の準特選盤に選ばれた。

昭和音楽大学にて非常勤講師をつとめ、後進の指導にも積極的に取り組んでいる。

日本ショパン協会正会員、日本ピアノ教育連盟会員。

2018年7月、3枚目となる最新アルバムが発売された。

オフィシャル・ウェブ・サイト <http://www.1002.co.jp/arisakobayashi/>

料 金

5,000円 全席指定・消費税込

前 売 開 始

2018年7月19日(金)

プ レ イ ガ イ ド

チケットぴあ:0570-02-9999 <http://pia.jp/t/> (Pコード:122-461)

紀尾井ホールチケットセンター:03-3237-0061 (10:00-18:00/日・祝休)

<http://www.kioi-hall.or.jp/tickets>

お 問 い 合 せ

株式会社1002[イチマルマルニ] 03-3264-0244 <http://www.1002.co.jp/>

※都合により、出演者・プログラムが変更になる場合がございます。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。